

製品名: PSMB8 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81028**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,ELISA
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.03%アジ化ナトリウムを含む PBS。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	30kDa

抗原情報

遺伝子名	PSMB8
別名	JMP; LMP7; D6S216; PSMB5i; RING10; D6S216E; MGC1491
遺伝子 ID	5696.0
SwissProt ID	P28062
免疫原	大腸菌で発現したヒト PSMB8 の精製された組み換え断片。

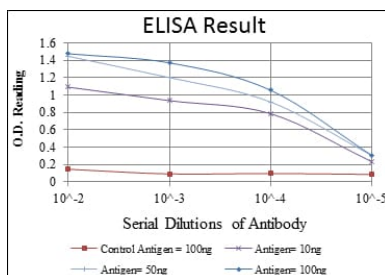
背景

プロテアソームは、高度に整列した環状の 20S コア構造を持つ多触媒性プロテアーゼ複合体です。コア構造は、28 個の非同一サブユニットからなる 4 つのリングで構成されています。2 つのリングは 7 個のアルファサブユニットから構成され、残りの 2 つのリングは

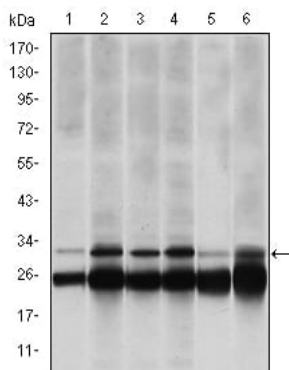
7個のベータサブユニットから構成されています。プロテアソームは真核細胞全体に高濃度で分布し、非リソソーム経路においてATP/ユビキチン依存性プロセスでペプチドを切断します。改変型プロテアソームである免疫プロテアソームの重要な機能は、クラスI MHC ペプチドの処理です。この遺伝子は、T1Bファミリーとしても知られるプロテアソーム B型ファミリーのメンバー、つまり 20S コアベータサブユニットをコードしています。この遺伝子は、MHC (主要組織適合遺伝子複合体) のクラスII領域に位置しています。この遺伝子の発現は γ インターフェロンによって誘導され、この遺伝子産物は免疫プロテアソーム中の触媒サブユニット3 (プロテアソーム $\beta 5$ サブユニット) を置換します。成熟サブユニットを生成するには、タンパク質分解によるプロセッシングが必要です。2つのアイソフォームをコードする2つの代替転写産物が同定されており、どちらのアイソフォームもプロセッシングを受けて同じ成熟サブユニットを生成します。

研究分野

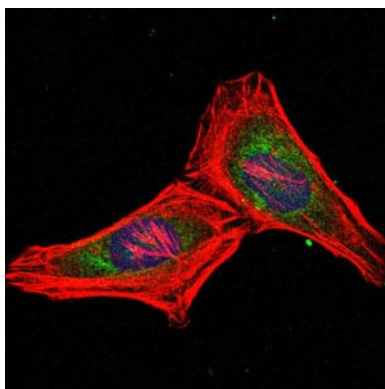
画像データ



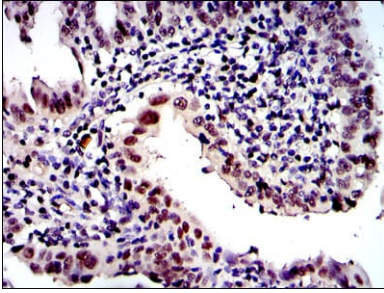
赤: コントロール抗原 (100 ng); 紫: 抗原 (10 ng); 緑: 抗原 (50 ng); 青: 抗原 (100 ng);



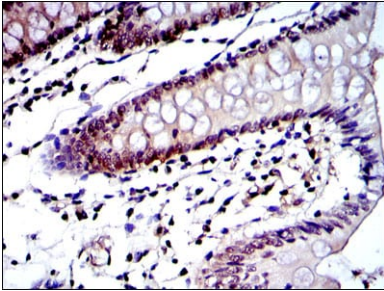
Hela (1)、MCF-7 (2)、A431 (3)、RAJI (4)、MOTL4 (5)、PC-12 (6) 細胞溶解物に対する PSMB8 マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



PSMB8 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



DAB 染色による PSMB8 マウス mAb を使用した、パラフィン包埋ヒト内膜癌組織の免疫組織化学分析。



DAB 染色による PSMB8 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト結腸組織の免疫組織化学分析。